

平成29年度 プレ・ジュエリーマスター学科試験問題

問1 次の日本の宝飾史に関する各文を読み、() 内に最もあてはまる語句または数字を解答欄に記入しなさい。

- (1) 山梨のジュエリー産業は「() 工芸」と「貴金属工芸」の2つの流れから発展した。
- (2) 「ダイヤモンド及び() 石」は1961年に輸入が自由化した。
- (3) 「昭和() 年」頃には、ジュエリーの大衆化へ向けて一般消費者が興味を持ち始めた。

問2 次のマネジメントに関する文を読み、() 内に最もあてはまる語句を解答欄に記入しなさい。

- (1) 作業管理の5Sとは「整理」、「整頓」、「清掃」、「清潔」、「()」である。
- (2) 生産管理のQCDとは「()」、「原価」、「納期」の3つである。
- (3) 生産の4Mとは「人」、「資材」、「設備」、「()」の4つである。

問3 次の流通や商品に関する各文を読み、() 内に最もあてはまる語句を解答欄に記入しなさい。

- (1) プロモーションとは消費者の()を喚起するための作業である。
- (2) 製品の流通経路を「()」と呼ぶ。
- (3) 市場分析のことを「()・リサーチ」と呼ぶ。
- (4) 「産業() 権」は「特許権」、「実用新案権」、「意匠権」、「商標権」の4つの権利で構成されている。
- (5) 国際的な販売戦略を「()・マーケティング」と呼ぶ。
- (6) 「オピニオン・()」の理解する商品は口コミで消費者に伝播する。
- (7) 製造物の欠陥により、生命や身体、財産が侵害されたとき、製造業者、輸入及び販売業者が賠償責任を負う欠陥責任原則により、被害者を保護する法律を「() 法」という。
- (8) 定期的に受注のある顧客を巡回し、再受注を得る販売形態を「ルート()」と呼ぶ。

問4 次の宝石に関する各文を読み（ ）内に最も当てはまる語句または記号、数字を解答欄に記入しなさい。

- (1) 水晶のモース硬度は7である。水晶よりもモース硬度の高い石は、ペリドット、アマゾナイト、クリソベリル、メノウのうち（ ）である。
- (2) ヒスイは硬玉と軟玉に分けられる。軟玉の宝石名は主に（ ）である。
- (3) 真珠は炭酸カルシウムの結晶である（ ）とタンパク質の一種であるコンキオリンで構成されている。
- (4) 宝石を分類すると天然石、合成石、人造石、模造石に分けられる。天然には存在しない化学組成や結晶構造を持つ宝石素材を分類上「（ ）石」と呼ぶ。
- (5) 宝石中の小板状の包有物に光が当たり、小さな反射光がきらめく効果をアベンチュリン効果と呼ぶ。サンストーン、ムーンストーン、ラブラドライト、オーソクレスの中でこの効果が最も顕著に見られるのは（ ）である。
- (6) トルマリン、アクアマリン、サファイア、ペリドットの中で強い酸に表面が侵食される石は（ ）である。
- (7) ダイヤモンドにおける GIA 方式の4C評価でクラリティーは無傷をFLと表記し、最もキズの多いグレードは（ ）と表記する。
- (8) ダイヤモンドは反射光の中に虹色がみられ、これをファイヤーと呼ぶ。ダイヤモンドにファイヤーがよく見られるためには適切なプロポーションと高い（ ）が必要である。
- (9) アレキサンドライトは変色性を持ち、自然光下で（ ）色、人工灯下で赤～ピンク色を示す。
- (10) ラピスラズリー、トルコ石、アマゾナイト、ブラックオパールの中で、古くから「瑠璃」と呼ばれるのは（ ）である。

問5 次の貴金属・加工に関する各文を読み、正しい記述の記号（ア）～（エ）を選択し、解答欄にすべて記入しなさい。

- (1)
 - (ア) Ptの融点は、2,768℃である。
 - (イ) レッドゴールドは割金に銅を使用しているため加工性が良い。
 - (ウ) ホワイトゴールドには、Pt、Agと区別のためWGが刻印される。
 - (エ) K18は、58.5%が金である。
 - (オ) 王水は濃硝酸と濃硫酸の混合液である。

(2)

- (ア) 貴金属の酸洗いには一般に、10～20%の希硫酸を用いる。
- (イ) 石膏系埋没材は、プラチナ合金など、融点が1,100℃以上の金属の鑄造に用いる。
- (ウ) プラチナ合金のロウ付けには、圧縮空気の代わりに酸素を用いる。
- (エ) 工具鋼には、炭素鋼、合金工具鋼、高速度工具鋼がある。
- (オ) 炭素鋼は、焼鈍温度に熱した後、水中急冷により焼きなましをする。

問6 次の品目に関する各文を読み、() 内に最もあてはまる語句を解答欄に記入しなさい。

- (1) 構造は同じだが、手首から肘までの間に装着するものを「ブレスレット」と呼び、二の腕に装着するものを「(a)」と呼ぶ。また足首に装着するものを「(b)」と呼ぶ。
- (2) パール・ネックレスは長さにより呼称が異なり、最も短いものから順にチョーカー、(a)、マチネ、(b)、ロープ、ロングロープと呼ぶ。
- (3) イヤリングには耳をクリップや(a) 式で挟んで留めるタイプのほかに、耳に穴をあけ、針をとおして留める「(b)」と呼ばれるものがある。

問7 次のデザインに関する各文を読み、() 内に最もあてはまる語句を解答欄に記入しなさい。

- (1) (1 : 1.618・・・) となる比率を「() 比率」と呼ぶ。
- (2) コンピューターを利用した「設計」と「製造」について、それぞれ英語表記の頭文字をとり、設計は「CAD」、製造は「()」と表す。
- (3) 色には「明度」、「()」、「色相」という3つの要素がある。
- (4) 「レンダリング」とは透視図法によって描かれた「() 予想図」である。

問8 次の宝石加工に関する各文を読み、() に最も当てはまる語句を解答欄に記入しなさい。

- (1) 半透明または不透明石に用いられ、ドーム状でボリューム感を演出するのに適したカットを「()」と呼ぶ。
- (2) モース硬度は() 種の鉱物を基準として摩擦時の傷で硬度を判断する。
- (3) 宝石加工で使用する際に、細工台に取り付けて使う先端工具の総称を「()」と呼ぶ。
- (4) コランダムを磨く際に使用する研磨剤は() が望ましい。

- (5) 宝石加工の機械設備について「() 動作」に必要な容量以上の電源を確保する必要がある。

問9 次の貴金属加工に関する各文を読み、() 内に最もあてはまる語句を解答欄に記入しなさい。

- (1) ヤスリがけや地金取りの際に出る貴金属のクズは回収し、再利用のための()を行う。
- (2) ヤスリ目の区分は目の粗い順に、「荒目」、「中目」、「細目」、「() 目」となる。
- (3) 重曹は弱()性で、貴金属表面の脱脂や酸の中和に使用できる。
- (4) 希硫酸を作る時は、先ず容器に()を入れ、その中に濃硫酸を静かに注いで作る。
- (5) 硼砂は金、銀の融解やロウ付けの融剤として用いる。878℃で無色透明のガラス状になり、金属と空気の接触を遮断する()防止剤として機能する。

平成29年度 プレ・ジュエリーマスター学科試験解答

問1		
(1)	(2)	(3)
水晶	色	40
問2		
(1)	(2)	(3)
躰 ^け け	品質	方法
問3		
(1)	(2)	(3)
需要	チャンネル	マーケット
(4)	(5)	(6)
財産	グローバル	リーダー
(7)	(8)	
PLまたは 製造物責任	セールス	
問4		
(1)	(2)	(3)
クリソベリル	ネフライト または蛇紋岩	アラゴナイト または霰石
(4)	(5)	(6)
人造(石)	サンストーン	ペリドット
(7)	(8)	(9)
I3 またはインパーフェクション3	分散度 またはディスパージョン	緑
(10)		
ラピスラズリー		

問 5		
(1)		
(ウ)		
(2)		
(ア)、(ウ)、(エ)		
問 6		
(1)		
(a)	(b)	
アームレット	アングレット	
(2)		
(a)	(b)	
プリンセス	オペラ	
(3)		
(a)	(b)	
ネジ	ピアス	
問 7		
(1)	(2)	(3)
黄金	CAM	彩度
(4)		
完成		
問 8		
(1)	(2)	(3)
カボッションカット	10	コマ
(4)	(5)	
ダイヤモンドパウダー またはダイヤモンド砥粒	定格動作	

問9		
(1)	(2)	(3)
精錬	油	アルカリ
(4)	(5)	
水	酸化	

受験番号	
------	--

得点